

人生は化学反応の連続

PTA会長 高坂一弘

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様におかれましても、今までを振り返って格別な思いでこの日を迎えられたのではないでしょうか。

さて、卒業された皆さんは進学や就職と、それぞれが選択した道へ進むこととなります。新たなスタートに向けて「わくわくするような」期待や「やっていけるのだろうか」という不安、様々な感情が入り混じっている事と思います。人生の先輩としても理解できます。私ももちろんそうでした。だって、方向性に違いはあるものの、これから皆さんが進む道は先が読めない化学反応の連続なんですから。

今までをはるかに凌ぐ多くの出会いがあり、その出会いは年齢層、価値観も様々。当然選択肢も増え、それによって化学反応が起こり、どんな展開が変わります。何でもうまくいく、楽しくて仕方がない時もあるでしょう。むしろそちらのほうが多いのではないのでしょうか。

何も心配はいらないよ、なんて安い言葉で皆さんを安心させることは私には言えません。私に言えることは、過去を変えることはできないが未来は皆さんの取り組み次第でどんな変えられるということです。「努力を続ける」というわけではないのです。その未来に向かって「備えと準備」を忘れないでほしいということです。そして、前に進むだけではなく時には立ち止まり、休み、振り返る「勇気」を持つてほしいということです。

新しいスタートを切る皆さんの未来が輝くものであることを心から期待し、応援しています。頑張ってください。

最後に、お世話になった教職員の皆様、そしてお互い大変な苦勞を乗り越えた子供たちの旅立ちを見守り、喜びを分かち合う保護者の皆様のご健康とご多幸を祈念して私からの言葉とさせていただきます。本当にありがとうございました。



大高祭PTA模擬店にて

向いていないところに運がある

校長 伊藤文一

昭和を代表する稀代の天才コメディアンであり、名司会者の萩本欽一さんは、その著書『ダメなときほど運はたまる』（廣済堂新書2010）の中で、「向いていないところにこそ運がある」と述べています。

萩本さんは、子どものころ、大変な貧乏生活を送っていたそうです。借金取りが家に来て、お母さんが玄關に土下座して泣きながら謝る姿を見て、「お金持ちになりたい！」と涙ながらに思ったことが、コメディアンになるうとしたきっかけでした。高校卒業後、芸人の聖地・浅草の東洋劇場でコメディアン修行を始めるのですが、初舞台でわずか三つのせりふが言えないという大失態を犯してしまいます。さらにはショーに出演する踊り子さんから、「リズム感がない、本当に才能が無い」と言われてしまいました。ところが、萩本さんは、あきらめるところか、「みんなと同じことをやっても、一歩どころか三歩遅れる。だったら五歩ぐらい遅れたところからみんなに追いつける努力をしよう」と考えます。リズム感をつけるためにドラムの練習を始め、自分の出番がない芝居でも先輩の稽古を見ることを続けました。すると、劇場のバンドマスターに「ドラマーにならないか？」と誘われるほどドラムが上達し、主役が病欠のときに代役が回ってくるようになります。萩本さんは、「もし最初からうまくできて『俺はコメディアンに向いている』と思っていたら、天狗になって成功しなかった」と述べています。

卒業生の保護者の皆様、お子様のご卒業誠におめでとうございます。長い人生ですから、今後お子さんが、「これは自分に向いていない」と感じる状況や場に身を置くことがあるかもしれません。しかし、考えてみれば、自分にぴったりの状況や場のある方が珍しいのです。「つらくても、そこから逃げず、あきらめないで努力した人に運やチャンスが巡ってくる」——運を呼び込む天才でもあった萩本さんの言葉には、信じるに足る重みがあります。

キャリア教育優良校
文部科学大臣表彰式にて

未来の希望たちよ

三年次委員長 伊藤 一成

三年生の皆さん、ご卒業おめでとう
ございます。また、保護者の皆様にお
かれましては、心よりお祝い申し上げ
ます。そして、三年間お疲れ様でした。
とうとうこの日がやってまいりました。
人生一度きりの高校生活、十分に
謳歌できましたか？楽しいことや辛い
こと、振り返れば色々な思い出が浮か
んでくるのではないのでしょうか。

そんな大人に向かって歩んで行く皆
さんに、私の好きな言葉の一文を送り
ます。

「為せば成る為さねば成らぬ何事も」
という一文です。単純ではありますが、
常に意味のある言葉だと思えます。何
かに挑戦する際、誰もが「失敗したら
どうしよう」と不安になる事がありま
す。その時は、この言葉を思い出し、
失敗を恐れず進んで下さい。例え失敗
したとしても失敗から学ぶ事は多く、
それが皆さんの糧となるからです。是
非、色々な事に挑戦し経験値を上げ、
素晴らしい未来の希望となつて下さ
い。

最後になりますが、教職員の皆様、
今までご指導を賜り誠にありがとご
ざいました。保護者を代表し御礼を申
し上げます。今後とも、子供達の活躍
を温かく見守って頂ければ幸いです。

未来の希望たちよ！
大空に向かって翔け！

笑えばなんとかなる

二年次委員長 木村 理

三年生の皆さん、ご卒業おめでとう
ございます。また、保護者の皆様にお
かれましては、心よりお祝い申し上げ
ます。

今年度、PTA活動として文化祭に
参加しました。顔見知りの生徒達から
の声かけや冗談交じりのいじり笑。学
生以来の文化祭は「これぞ青春！」と
感じる一時でした。

これから、卒業生の皆さんはそれぞ
れ新たなステージへ進んで行くことと
なります。たくさん仲間と共に勉強
に励み、部活動に汗を流した高校生活
は一生の財産です。時には涙すること
もあったでしょう。しかしその涙は、
仲間や家族の笑顔によって笑顔と変わ
り、次への一歩の糧となります。遠い
昔に恩師から言われたことがあります。
「笑え、苦しいからって苦しそうな
顔するな。」笑って居られればなん
とかなる、そう生きましよう！

ご卒業、誠におめでとうございます。



ふるさとを胸に

一年次委員長 長津亜紀江

三年生の皆さん、ご卒業おめでとう
ございます。保護者の皆さまにおかれ
ましては心よりお祝い申し上げます。

見上げれば釜臥山。そして眼下には
芦崎湾。当たり前の景色に見えていた
かもしれないが、山があり海がある
この景色を見ながら育った皆さんは、
きっと優しい心とたくましさがあるは
ずです。

この先、これでもいいのかと迷うこと
もあるかもしれません。そんな時に
は、今よりも、もう少しだけ上から下
を見おろしてみると、答えが近づくか
もしれません。もしくはなんてことな
かったと気づくこともあるかもしれま
せん。

キッズグレンデから見えた海より
も、第二リフトからの眺めが美しかっ
たことを思い出して、そして第一リフ
トに行ったことのある人しか知り得な
い発見がそこにあると思います。視座
が高まることによって、見える答えが
きっと変わるはずです。

三つの礎が絡みあった紋様の大湊高
校の校章は、かっこよさとたくましさ
を兼ね備えています。この校章を胸
に、通った三年間を宝に、皆さんのこ
れからも笑顔溢れる日々が続くことを
祈っております。

ご卒業おめでとうございます。

久々のPTA研修旅行

PTA副会長 秋田 智人

十一月九日、ここ数年、コロナ禍で行われて
いなかったPTA研修旅行が実施されました。
当日は天候も良く、少し肌寒もありましたが、
最高の研修旅行日になりました。

研修場所は『奥入瀬溪
流』。紅葉時期は少しすぎ
ておりましたが、まだまだ
紅葉は残っており普段では
拝見出来ない様々な滝、紅
葉を沢山見られ、最高の時
間を満喫し、すばらしい一
日を過ごしPTA役員の交
流も深められ、とても楽し
い研修旅行でした。

今後も、このすばらしい
行事が続けられることを切
に願っております。

この度、参加された皆様、
楽しい一日をありがとうございました。



編集後記

今年度は花壇の整備や朝の一声運動、学校行
事への協力、各研修会への参加など、たくさん
の保護者の方がPTA活動に協力してくださ
いました。心から感謝いたします。こうしたPT
A活動の一つひとつが、お子様の健全な育成に
つながっていくのだと感じています。来年度も
皆様の協力のもとPTA活動を盛り上げていき
たいと思います。よろしく願います。

渉外部主任 半田 拓也